令和８年度　常盤平地区意見交換会のテーマについて

（ 団 体 名 ）　千駄堀第一町会

（ 件　　名 ）　千駄堀地域(総合医療センター周辺)の街づくりの進め方について

（具体内容）
　当地域は地形的に松戸市の中心的な位置にあり、文化、公園、医療等施設が開設されており大変重要な地域と思います。
　これまで都市計画では市街化区域の設定などありましたが、頓挫して現在の市街化調整区域のままであり、道路も狭く不便をきたしております。最近では総合医療センターの開設とともに街づくりの考え方がはじまり、平成 30 年 7 月に地権者等に概要等説明等ありました。
　その後具体的な動きとして令和 6 年 6 月には街づくりの理想を考えた、地権者の有志による「地域の方々の思い」をまとめるコンセプトブック作成委員会が立ち上げられ、令和 8 年 3 月に完成しているところです。
　今後の進め方が大変重要な課題です。
　地権者や住民の醸成なくして先に進まないとおもいます。十分承知しているところですが、市として今後どのように係わりをもって進めて行こうと考えているかお伺いします。

（ 回　　答 ）
　千駄堀地域のまちづくりにつきましては、従来の行政主導によるまちづくりではなく、住民主体のまちづくりを基本として取り組んでおります。

　そのため、令和元年度から勉強会やまちづくりフォーラム、意見交換会などを開催し、地域の皆様と対話を重ねながら、千駄堀地域が目指す将来像や、その実現に向けた方向性について検討を進めてまいりました。

　こうした取組の中で、令和６年度には地元権利者で構成される「千駄堀地区まちづくりコンセプトブック作成委員会」が設立され、市も委員会の運営支援や資料作成、意見交換などを通じて活動を支援してまいりました。そして、本年３月には、地域の皆様の思いや将来像をまとめた「千駄堀地区まちづくりコンセプトブック」が完成したところでございます。

　コンセプトブックの作成過程では､権利者アンケートや意見交換会､まち歩き、先進地視察などを実施し、緑豊かな環境の保全と活用、狭あい道路の改善、交通利便性の向上、多世代が交流できる空間づくりなど、地域の皆様から様々なご意見やご提案をいただきました。また、民間事業者へのサウンディング調査では、まちづくりを進めるためには道路などの交通基盤の整備や地域の魅力向上が重要であるとのご意見もいただいております。

今後につきましては、このコンセプトブックを地域共通の将来像として活用しながら、住民主体によるまちづくりの取組が継続的に進められるよう、市として必要な支援を行ってまいります。

まちづくりは行政だけで実現できるものではなく、先ずは、地権者や地域住民の皆様の課題の解決やまちづくりの推進に向けた気運の高まりが重要であると認識しております。市といたしましても、地域の機運や合意形成の状況に応じて、将来のまちづくりの具体化に向けた検討を地域の皆様とともに進めてまいりたいと考えております。

（回答課）街づくり課